

## 「ソーシャルワーク視点による精神障害者のための就労支援研修」カリキュラム

### ■本研修カリキュラムについて

本助成事業では、『ソーシャルワーカーのための就労支援ハンドブック』を作成しました。このハンドブックは、就労支援初心者向けの基本的な Q&A を提示した後、経験を積んだ方に向けて「ソーシャルワーク視点をより深める」ためのさらなる Q を示しているものです。単に効率的に就労に結びつけるノウハウではなく、就労支援に携わるソーシャルワーカーが折に触れて読み返し、自身の関わりを見直すための指針にしたいと考えて作成しています。

このハンドブックを、各自での学習だけでなく、職場や都道府県精神保健福祉士協会等での研修にも広く活用いただけるように開発したものが本研修カリキュラムです。

### ■研修カリキュラム(例)

カリキュラム	ねらい、内容	
総論	ねらい	実践の軸となるソーシャルワーク視点やディーセントワークを確認する。
	内容	ソーシャルワーク視点である「生活者支援の視点」「人と状況の全体性」「クライアント自己決定の原理」「権利擁護」や、ディーセントワークについて説明する。
各論	ねらい	ハンドブックを実践や振り返りに活用するための方法を理解する。 ソーシャルワーク視点と自らの実践をつなげて考える力を養う。
	内容	ハンドブックの内容を参照しながらその活用方法を説明し、ソーシャルワークの視点による考察をレクチャーする。
シンポジウム等	ねらい	研修を開催する地域における就労支援の課題や、就労支援に係るトピックについて多面的に考える。 演習に向けてモチベーションを高める。
	内容	地域における就労支援の課題、就労支援に係るトピックについて複数名が意見を述べ合い、質疑応答を行う。
演習	ねらい	ソーシャルワーク視点と自らの実践をつなげて考え、語る機会をもつ。 日頃の実践や悩みを共有し、語り合える仲間をつくる。
	内容	オリエンテーション ⇒個人ワーク ⇒自己紹介、アイスブレイク、役割分担 ⇒わかちあい 個人ワークで検討した内容について発表する。 ⇒掘り下げたい Q (もしくはテーマ) を選び、Q2 もしくはグループで協議したい内容について話し合う。 「ソーシャルワーク視点」への気づきや実践上の課題を話し合いまとめる。 ⇒発表 ⇒総括